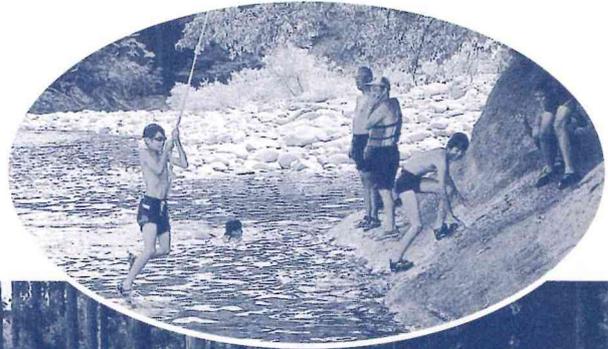


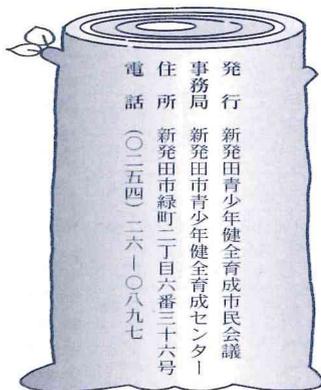
新発田青少年健全育成市民会議だより

はばたき

21世紀も市民みんなで手をたずさえて



合同キャンプ活動(赤谷森林公園)



発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四)二六一〇八九七

青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

とき 11月3日(祝日) 午前9時30分～正午

- ・出発式 9時30分～10時
地域交流センター
(あおり館)屋内広場前駐車場(雨天は屋内広場)
- ・パトロール等
10時30分～正午(中学校区毎)
パトロール等は、中学校区の活動となります。
(別の日に行う地区もあります。)



明日を担う青少年の健全育成のために大勢の皆様のご協力をお願いします。

～詳しくは、市民会議事務局またはお住まいの育成協議会へ～



新発田青少年健全育成市民会議
会長 臼井 茂夫

明日の新発田を担う子どもたちが安心して健やかに逞しく育つことは私たち大人の切実な願いであります。市民一人一人が目となり耳となって子どもたちをしつかりと見守ることが、今大きく求められています。

市民会議では「地域の子どもは地域で育てよう」を合言葉に、即対応できる防犯・支援体制や環境整備に取り組み、フットワークとネットワークを生かした活動を推

進んでいます。

連携と活動の充実強化を一層図るため、少年団活動、育成協議会などの地域活動、社会環境浄化活動、組織強化活動の四推進委員会を設置しました。

より開かれた市民会議を標榜し、去る七月二十九日に市民大会を開催いたしました。中学生が「わたしの主張」を発表する場を通して、日頃子どもたちが何を考え、どんな悩みを持ち、いかにし

て自ら問題を解決しようとしているか生の声を聞くことができました。

家族、友達などの人間関係やコミュニケーションのあり方など、今日の社会におけるさまざまな問題に対し真剣な提言をすることにより、大人が変わる大きなヒントを与えてくれました。

自分で考え、しっかりと生きようとする姿や苦悩、失敗、挫折経験から逞しく生きる原動力を身につける、ひたむきな態度に感動させられました。

子どもたち一人一人が輝き、いきいきと活動できるよう、市民総ぐるみで青少年健全育成に取り組みたいと思います。更なるご協力をお願いいたします。

専門委員会の運営には

少年団体活動推進委員会

委員長 大森 陸雄

市民会議には、七つの少年団（市子供会連合会、市健民少年団、ボーイスカウト、新発田地区緑の少年団、紫雲寺地区緑の少年団、加治川地区緑の少年団、市スポーツ少年団）があり、それぞれ家庭と地域の方々からご協力をいただき、一年間をとおして色々な行事を組み、活動を展開しております。

一方、各少年団体には次のような課題もあり、関係の方々との更なる連携を図ってまいりたいと考えています。

- ・団員数の減少（少子化、行動の単独化、関心の多様化）
- ・指導者の不足（指導者年代の交代期、後継者の確保）
- ・指導者の身分保障（活動中の事故への対応）

地域活動推進委員会

委員長 比企 広正

先日、第一回目の委員会を開催し、各育成協議会並びにすこやかな子どもを育てる会より出向された委員の皆様方から、今年度の活動状況と方針を発表して戴きました。東豊学区の三世代ふれあいゲ

ートボール大会、猿橋小学校区の健康ウォークぶどう狩り、松浦地区の夏休み夜間パトロール、赤谷地区の親子キャンプ、川東地区の心育で活動など、子どもと大人がコミュニケーションを図り、特色ある活動を行ってまいります。

今後は、お互いの意見を尊重し、地区の連携を強化して行きたいと思っておりますので、ご理解ご協力を宜しくお願い致します。

社会環境推進委員会

委員長 宮下 俊夫

社会環境推進委員会は市補導委員会、民生委員・児童委員連合会、保護司連絡会、新発田地区少年補導員等連絡会、市防犯組合、児童相談所、新発田警察署の七団体である。各団体はそれぞれ固有の活動を持っているし、他町村との係わりもある。

青少年健全育成市民会議だから「市内の青少年と活動を共にしながら健全に育成する」という意味を持っている。その点、私たちの委員会に所属している団体は「間接的に青少年を健全に育成する」という活動をしているのである。

今その点をどのようにして、共通活動にするか話し合い中である。

組織の見直しを行いました

平成18年度理事会で規約の一部改正し、組織体制を見直しました。主な見直し等（カッコ部は従前）

見直しの視点
 ◎市民にわかりやすい組織
 ◎ネットワークとフットワークを活かした活動の推進
 ◎効率的な運営

◆機関と役割

機関	説明
理事会	・会議の議決機関です。 ・会長、副会長、常任理事及び規約別表の理事で構成します。
執行部会 (役員会)	・会議の執行機関です。 ・会長、副会長、常任理事で構成します。
専門委員会	・会議の活動を推進します。委員長は会長が指名します。
4委員会 (3委員会)	○少年団体活動推進委員会 ○地域活動推進委員会 ○社会環境推進委員会（環境浄化推進委員会） ○組織強化推進委員会 ←新設
広報・啓発部会	・会議の広報活動を推進します。編集委員は理事の中から会長が委嘱し編集長は会長が指名します。

◆役員・選出方法

役職	定数(名)	説明
会長	1 (1)	・理事会で選出します。
副会長	2 (3)	・理事会で選出します。
常任理事	11 (4)	・理事の中から会長が委嘱します。
理事	70以内 (35以内)	・規約別表の選出区分によって選出します。 ・学識経験者理事は執行部会で選出します。
監事	2 (2)	・理事会で選出します。

◆その他

- ・理事選出には青少年健全育成に関係する多くの団体等から参画いただきました。
- 46団体 (30団体)
- ・費用弁償を廃止しました。

気負いなく自然体で

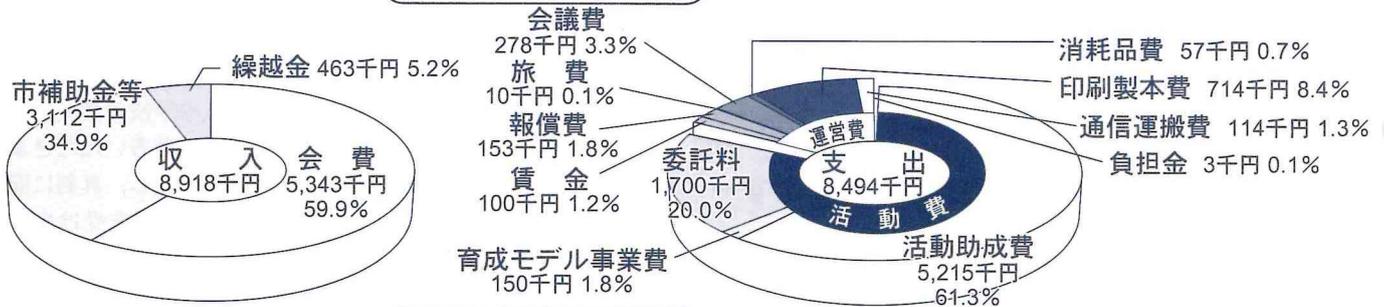
新設委員会の組織強化を、私なりに解釈しますと、市民会議の目的達成に向けて、「人とお金を組み合わせ、活動が円満・効果的に促進されることである。」と容認されれば、活動助成金の交付は、活動実績を客観的に評価見直しを図ることも、課題のうちの重要な視点になるだろうと、無い知恵をしぼっているところです。

幸い各界から選任された委員二十名は、教育的に高い識見をもつ方がお揃いなので、真剣に、そして謙虚に学習を重ねて私の抱負が道に迷わぬように心がけたいと思っています。
それも気負いなく自然体で……

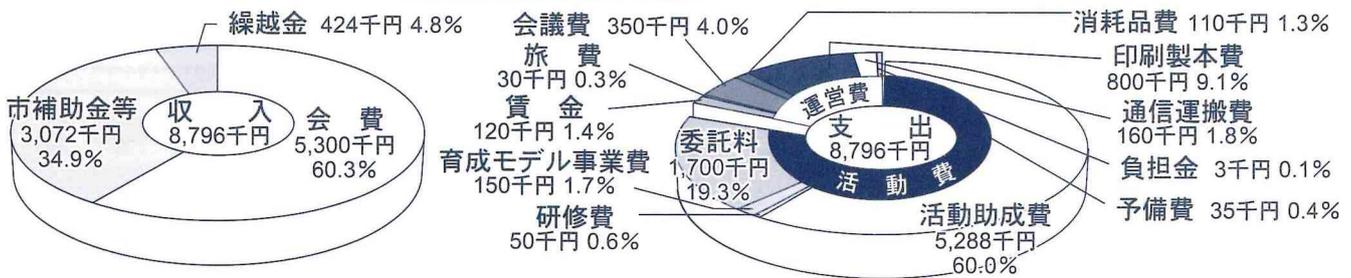


18年度理事会を終えて (平成18年5月17日と6月1日に開催いたしました。)
各世帯から会費をいただきました。ご協力ありがとうございました。

17年度決算報告



18年度予算額



平成18年度の活動助成費は下記の組織団体に助成しました。

16地区青少年育成組織

組織名	助成金額(円)
外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	317,000
御免町・一中校区育成会議	314,000
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	392,000
二葉地区青少年育成協議会	252,000
住吉小学校区青少年育成協議会	268,000
松浦地区青少年健全育成協議会	111,000
さわやか佐々木っ子育成会	143,000
川東地区青少年健全育成協議会	174,000
五十公野地区青少年健全育成協議会	179,000
米倉小学校区青少年育成協議会	92,000
赤谷地区青少年育成協議会	67,000
七葉中学校区すこやか育成会	251,000
東豊学区青少年健全育成協議会	319,000
豊浦地区青少年健全育成協議会	332,000
紫雲寺地区青少年健全育成協議会	264,000
加治川地区青少年健全育成協議会	225,000

青少年育成団体

組織名	助成金額(円)
市子ども会連合会	938,000
市健民少年団	214,000
市スポーツ少年団	237,000
ボーイスカウト新発田第1団	155,000
少年補導委員会	44,000

組織一元化育成モデル事業助成金

組織名	助成金額(円)
東中学校区すこやかな子どもを育てる会	25,000
七葉中学校区すこやか育成会	25,000

※ 組織一元化育成モデル事業は、各地域における青少年健全育成団体等の組織が多く、事業内容等が重複していることから、「すこやかな子どもを育てる会」と「地域育成協」の一本化をモデル的に推進するものです。

平成18年度
健全育成市民会議 市民大会



中学生によるわたしの主張

～発表会の要旨です～

「なんで」で変わる私

本丸中学校三年 長井 杏子

「なんで」という弱い気持ちには、思いきり悩むことによって、強さに変わります。自分は自分らしく弱い自分も受け入れていくことが大切だと自分のアトピーや部活の体験から学びました。

Let's Communicate

猿橋中学校 年 渡辺 万梨

人と人はコミュニケーション

受賞の方々

◇功労者表彰 新発田市健民少年団(会計監査) 加藤 章好 様
五ヶ字神楽子供会(代表) 石田 勝弘 様
新発田市子ども会連合会(顧問) 坂井 安隆 様

食べられる幸せ

佐々木中学校三年 石澤 彩

私は今回「食べ物」をテーマにして、発表しました。

身近な所で無駄にされている食べ物や、食べたくても食べられない世界の現状について考えてみました。

失敗という名の発見

紫雲寺中学校三年 難波 理穂

失敗は、その方法や考え方が違うという一種の発見なのです。ですから一度失敗したからといってあきらめるのではなく、原因を考えることで、できなかったこともできるようになるのです。

誇りに思うこと

川東中学校三年 本間 萌子

自衛隊のイラク復興支援について色々な意見があります。しかし、私は父や隊員の人達は頑張って任務を遂行してくれたと思います。だから私は、父や隊員の人達を誇りに思います。

渡辺万梨さんは、三市北蒲原地区大会で最優秀賞を受賞し、地区代表として県大会に出場しました。九月十七日に新潟市で行われた県大会で奨励賞を受賞しました。

おめでとございます。

青少年健全育成 市民大会を開催!

七月二十九日(土)

会場の生涯学習センターには、来賓として片山吉忠新発田市長や小川弘市議会議長、大滝昇市教育長、目黒信雄新発田警察署長をお迎えし、二〇〇人を超す大勢の方々からお越しいただきました。

最初に功労者表彰を行い、東中学校区、七葉中学校区の地区活動事例発表の後、市内中学生による“わたしの主張 市内発表会”に移り、五中学校の生徒から日ごろ考えている様々な意見や考えを発表いただきました。参加者は子どもたちの生の声に接し、真剣に聞き入り改めて認識を深めるとともに感銘を受けました。

記念アトラクションは、結成一年半の豊浦地区のよさこいチーム「よさこい優」からよさこいを披露いただきました。これからも青少年の健全育成を推進いたしましょう。



大人が変われば、子どもも変わる

- ◆ 市民会議では、“大人が変われば子どもも変わる”を活動の基本としています。ここでは、今後、大人たちが特に大切にしなければならないこと、あらためねばならないことについて、三人の方からお考えを述べていただきました。



豊浦地区育成協議会 豊浦冒険の旅（8月）
ホテルの群舞を夢見て、小川にホテルを放流しました。

内なる不安と不信



青木 泰俊
（大栄町二）

「青少年の凶悪犯罪が増えている」「不審者による子どもへの被害が増えている」：事実は違っています。凶悪犯も不審者被害も増えていません。昔より減っています。私達の心の中の不安と不信だけが増大しているでしょう。

「健全育成」ということばはどうも好きになれません。もちろん主旨には大賛成ですが：子ども達に対し「寄り添い、見守

り、なぐさめ、はげまし、ともに悩み考える会」とでもすると胸にストンと落ちるような気がします。（長すぎますね。）

この種の「おたより」を読まない人、PTAや地域の会合に参加しない人が子どものしつけの面でも問題があるといいますが、そうでしょうか。そのように考える「善い人」が問題のようない人が増えます。

私達が特に大切にしなければならぬことといえば、読まない人、参加できない、しない人とともに地域社会で「寄り添い、見守り、なぐさめ、はげまし、ともに悩み考え」生きていくことではないでしょうか。

子どもに真の教えを



齋藤 敏郎
（御幸町二）

スリコミと言う用語をご存知でしょうか。鳥などの生き物は、誕生して最初に接触したものを親と認識し、様々な生きてゆく方法を親から伝えられていきます。

人も野生の生き物もスリコミで学習しながら成長していくものと考えます。子どもは最初から子どもとして生まれてきたのではなく、子どもになるべく成長し、親もまた子どもを通して親になるべく成長していくのだ

と思います。良い子や立派な親など最初からいないのです。しかし親は良い子であることを求めるあまり、子どもの成長ばかり望みます。

しかも、子どもの人権を大切にとの考えか、育児放棄ともとれる変なところで自立を要求します。

では、成長していくための教えや自立心を真にはぐくむ教えをしているでしょうか。食べさせ、物を与え、通園通学させるだけの子育てでは本能のみで生きる子どもとなってしまう者です。そうして大人になった者が今日の問題ある社会現象を引き起こしているのではないのでしょうか。親が刷り込むように子どもに教える姿勢が今強く求められています。

地域で子育てを



小室 優子
（野中）

早いもので我が子の誕生を家の中で喜んだのも三十年が過ぎようとしております。

その頃、育児という形さえ知らなかった自分にとって、悪戦苦闘しながらも、おじいちゃんおばあちゃんの手や知恵を借りながら、我が子を育てられたことに今、とても感謝しております。

毎日、隣り近所のお年よりの

方々の声を聞きながら、悪い事をした時は、叱られ、時には、我が子のように可愛がられ、いつも暖かく見つめられ、守られて成長した娘達、ほんとうに幸せだったと思います。

現代社会では、核家族が増加し、孤立しがちな毎日を送っている親子が増えています。

地域で子ども達を育てましょう。地域の中で、まわりの人達の知恵を借りながら、父から、母からそしてみんなに、心から、愛されている子ども達に問題行動等、おこるはずがないと私は信じております。子育ても社会全体の枠組みの中で考えたいものです。



お弁当に、あったかい豚汁と甘～いぶどう

第13回健康ウォークぶどう狩り（9月3日）
165名親子参加（猿橋小区育成協）

市民会議



問い 市民会議はいつ設立したのですか。

答え 現市民会議の母体である新発田青少年育成協議会が昭和34年全国に先がけて設立されました。その後、いろいろな団体が組織され活動してきましたが、昭和59

年度に、新発田青少年育成市民会議に一体化し、更にもっと市民に開かれわかりやすい組織とするため、平成16年5月組織の見直しを行い、現在に至っています。

問い 市民会議の目的はなんですか。

答え 青少年の健全育成は、これまでもまして重要な課題です。この重要性を認識し、広く市民一人一人の総意を結集し、市の施策や青少年関係団体・機関と連携を強め、青少年を育成することを目的としています。

人の総意を結集し、市の施策や青少年関係団体・機関と連携を強め、青少年を育成することを目的としています。

問い 市民会議の運営・活動の経費はどうなっていますか。

答え 市民の皆様からいただく一口200円の会費と市の補助金等を運営・活動経費として充てさせていただきます。

よろしくお願ひします 新発田青少年健全育成市民会議 役員名簿 任期 平成18年6月1日～平成20年5月30日

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
会長	白井 茂夫		理事	大竹 紀明	第一中学校区「未来を築く子どもを育てる会」	理事	竹森登志男	児童相談所
副会長	田村 光雄		"	栗山 信	猿橋中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	大平 健二	新発田警察署
"	高橋 大作		"	湯浅佐太郎	東中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	渋谷 精一	自治会連合会
常任理事	大森 陸雄	スポーツ少年団	"	伊藤 好規	川東地区青少年健全育成協議会	"	齊藤 光夫	自治会連合会
"	(少年団体活動推進委員会委員長)		"	佐久間ゆみ子	川東地区青少年健全育成協議会	"	小柳 将和	小中学校PTA連合会
"	高橋 剛	ボーイスカウト新発田第1団	"	高橋 耕一	さわやか佐々木っ子育成会	"	湯浅 喜六	新発田地区交通安全協会
"	皆川 美枝	豊浦地区青少年健全育成協議会	"	星野 忠太	さわやか佐々木っ子育成会	"	齊川 豊	小学校長会
"	比企 広正	紫雲寺地区青少年健全育成協議会	"	高橋 正	七葉中学校区すこやか育成会	"	丸山 雅人	中学校長会
"	(地域活動推進委員会委員長)		"	居城 利昭	七葉中学校区すこやか育成会	"	間部 周平	高等学校長会
"	酒井 鉄男	加治川地区青少年健全育成協議会	"	渡邊 信明	豊浦地区青少年健全育成協議会	"	寺尾ちはる	市立保育園長会
"	中村 直子	外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	"	服部 政弘	紫雲寺地区青少年健全育成協議会	"	真田 キミ	私立保育園長会
"	若月 学	米倉小学校区青少年育成協議会	"	佐藤 孝一	加治川地区青少年健全育成協議会	"	片野イサ子	市立幼稚園長会
"	宮下 俊夫	少年補導委員会	"	浮島 一雄	御免町・一中校区育成会議	"	斎藤 孝正	私立幼稚園協議会
"	(社会環境推進委員会委員長)		"	松川 康男	猿橋小学校区青少年健全育成協議会	"	近 弘子	住吉小学校区母親クラブ
"	宮村 嘉吉	防犯組合	"	森井 正俊	二葉地区青少年育成協議会	"	大川原さとみ	加治川地域子育てクラブ
"	長谷川正美	自治会連合会	"	楨坂 宣弘	住吉小学校区青少年育成協議会	"	石井 辰吉	学識経験者
"	(組織強化推進委員会委員長)		"	千代 勝一	松浦地区青少年健全育成協議会	"	小宮 皓	学識経験者
"	渡辺 和昭	学識経験者	"	嶋津 久成	五十公野地区青少年健全育成協議会	"	伊保橋清子	学識経験者
理事	森田 国昭	子ども会連合会	"	清野 万明	赤谷地区青少年育成協議会	"	岸本 正智	学識経験者
"	小泉 醇	健民少年団	"	富樫 政晴	東豊学区青少年健全育成協議会	"	吉田奈津子	学識経験者
"	宮崎 光衛	新発田地区緑の少年団育成会	"	齋藤 吉夫	民生委員・児童委員連合会	監事	小山志賀之助	
"	小泉由岐子	紫雲寺地区緑の少年団育成会	"	櫻井 忠夫	保護司連絡会	"	今村由記子	
"	高橋 孝夫	加治川地区緑の少年団育成会	"	小池 完治	新発田地区少年補導員等連絡会			
"	渡邊 喜夫	本丸中学校区明るい子どもを育てる会						



(楨坂 記)

“大人が変われば子供も変わる”では、お三方から、大人たちの意識のあり方として、内面の大切さ、社会に生きるための、「しつけ」の大切さ、地域の教育力の大切さを指摘いただきましたが、それぞれに現代社会の背景があり、対応への工夫と実践が必要だと思います。

市民会議の新しい組織が出発いたしました。時代の大きな変化の中で、青少年育成に関する課題も多く、会長さんが述べる、まさに「市民総ぐるみ」の対応が必要と思われまます。

おわりに